

えん かく じ あと
 円覚寺跡出土の短剣

クリス

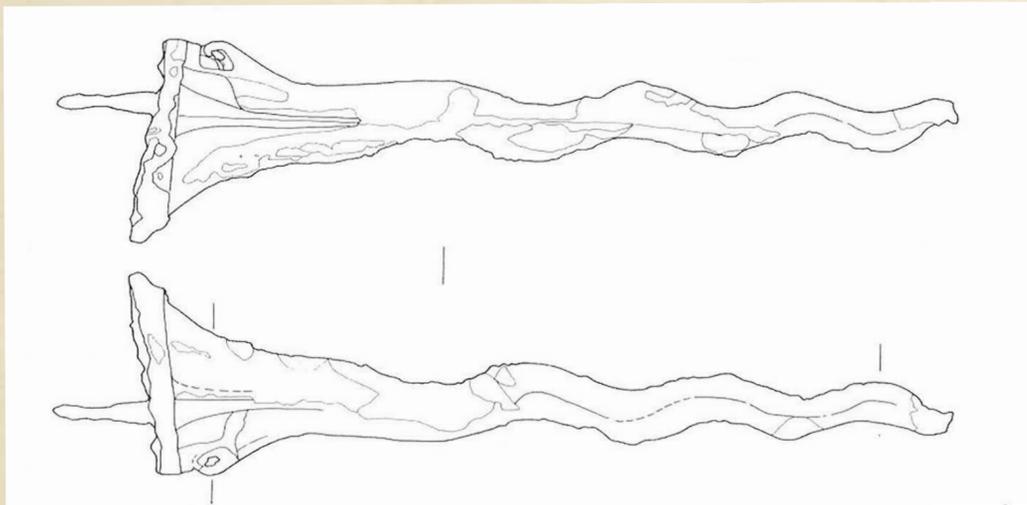
■ 出土地：円覚寺跡（那覇市）

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイチ押し^いの出土品を、月替わりで紹介。
 今回は、蛇^{へび}をイメージさせる、インドネシア製の宝剣です。

この短剣は、インドネシアで祭祀の際に使用される「クリス」と考えられています。国指定史跡 円覚寺跡の龍淵殿地区^{りゅうえんでん}塙敷^{せんじき}溝内^{こうない}から出土しました。

一般的に「クリス」は両刃で先が鋭く、通常の短剣のようにまっすぐなものと、蛇^{へび}をイメージさせる波形の2種があります。このクリスは、波形をしており別名「蛇行剣^{だこうけん}」と呼ばれるものです。表面に文様はなく、先端部は欠損していますがほぼ完形です。

インドネシアの宝剣^{ほうけん}が、なぜ尚家^{しょうけ}の菩提寺^{ぼだいじ}である円覚寺から出土したかは不明ですが、インドネシアと琉球王国は、深い交流関係があったと思われます。



実測図



「琉球の大交易時代」とも呼ばれた
 14～16世紀の交易の様子